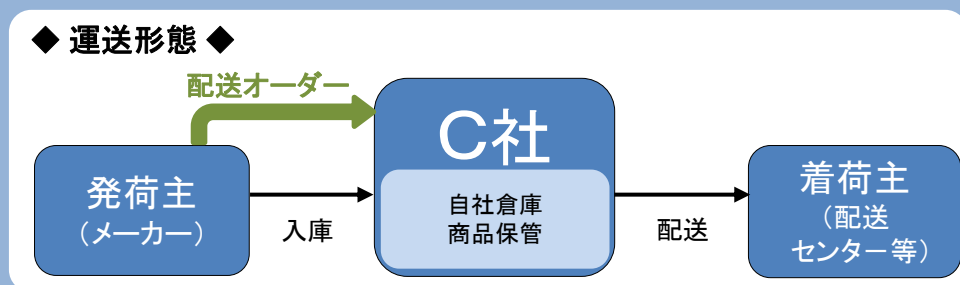


「配送オーダーのリードタイム延長」 により、ドライバーなどの労働時間を縮減！



主な取組のポイント

荷主と連携した取組

1 配送オーダーのリードタイム延長

- 以前は、発荷主からC社への商品の配送オーダー受付時間を「配送日前日の午後」と設定。その後配車割付(*)を行い、その日のうちに全車に荷を積み込んでいた。この際、ドライバーやフォークリフト作業員は、配車割付確定まで待機状態となっていたことから、この時間を解消する方策を検討。当初、交代制勤務を取り入れ、荷の積み込み作業を24時間体制とすることで、一部の荷の積み込みを翌朝に行うなど、C社の自社努力で待機時間の解消を目指した。
(*)どのトラックがどの方面にどの順番に配送するかを割振り調整すること。
- そのような中、ドライバーらの上記待機時間発生に係る物流課題をC社から発荷主へ共有。その結果、発荷主が着荷主へ課題解消に向けて理解と協力を求め、その結果、着荷主から発荷主への出荷オーダーの発注時間の前倒しが実現。それまでの「配送日の前日午後」から「配送日の前々日午後」へとリードタイムが延長された。
- リードタイムが延長されたことにより、配車割付が配送前日の午前中には終了し、荷の積み込み作業も昼過ぎにはスタート（以前は夕方スタート）。それまで発生していたドライバーやフォークリフト作業員の待機時間は解消。ドライバーはその日の着荷主への配送を終えて帰社後、すぐに翌日の積み荷作業を行えるようになり、午後の早い時間には帰宅できるようになった。

【配送オーダーのリードタイム延長による効果】

それまでの待機時間解消により、日々約3時間の労働時間が削減（以前は夜まで掛かっていた積込作業が、その日の夕方頃には終了となった）！

2 パレットを活用した配送

- ・ 以前は、C社での入出荷作業は、小型トラック(2トン車、4トン車)のみならず、大型トラック(10トン車)への商品の積み込み・積み卸しも手作業（バラ積み・バラ卸し）中心となっていた。
- ・ 手作業では時間を要し、また作業員にも身体的負荷が掛かることから、C社から発荷主へそうした課題について共有していたところ発荷主も理解を示し、当該課題の解決へ向けて、発荷主が主体となってパレット配送を推進。発荷主とC社が連携して着荷主へ働きかけ、着荷主の理解を得ながら徐々にパレットでの配送先を増やし、現在はC社配送先の約40%がパレットを使った配送となっている(※)。
(※)着荷主側の保管スペースや発荷主と着荷主が取り扱うパレットの大きさの違い、また1回の発注数が少ない場合はパレット輸送では非効率になる場合があるなど、着荷主側の事情で、発荷主が使用するパレットのまま配送できない場合がある。
- ・ その結果、トラックへの積み込み・積み卸しの時間は大幅に短縮。また、作業員の身体的負荷も軽減。更に、フォークリフト作業員の倉庫からのピッキング作業(倉庫から発注個数をピックアップする作業)の時間短縮にも繋がり、全体として荷役時間の短縮が実現した。

(手作業による積み込み・積み卸し)



(パレット積みでの積み込み・積み卸し)



※フォークリフトによる積み込み作業

【取組による効果】

手作業による積み込み・積み卸し時：1回約2～3時間

→ パレット積み(フォークリフトによる積み込み・積み卸し)による作業時：1回約20～30分

= 約84%の時間短縮！ また身体的負荷も軽減！

トラック事業者の取組

1 トレーラー中継輸送の実施

- 従来より、①関西エリアと②関東エリア間を往来する長距離輸送(※)を実施。
(※)①②各エリアに倉庫(配送センター)を要し、①②各エリア内の工場で生産された商品をもう一方のエリアの倉庫(配送センター)へ相互に輸送するもの。
- 以前は1人のドライバーが宿泊付きで往復していたが、2017年に静岡県浜松市に営業所を新規開設し、休憩場所として休憩・宿泊施設を完備。
- スタート当初は、ドライバーの休憩地点として運用していたが、その後、より効率的な輸送を行う為、2019年から積載量の多いトレーラーを導入した上で、「ヘッド交換」を行う形での中継輸送を開始。



【取組による効果】

宿泊施設を兼ねた中継地点を設け、トレーラーを導入したことにより、ドライバーの労働環境が改善(日帰り運行も可能に)！ また、1回当たりの輸送量が144%増加！

2 「2枚差しフォークリフト」の活用

- 商品の運搬・積み込みで使用するフォークリフトを、従来の2倍運搬できる仕様に変更。結果、運搬回数が半減し荷役作業時間が短縮された。

従来のフォークリフト
※一度に運ぶのは1列分



2枚差しフォークリフト
(従来の2倍運搬可能)
※一度に2列分運んでいる



3 作業場に「大屋根」を設置

- 以前は、雨天時には荷が濡れないよう倉庫周りの狭隘な庇部分にて交替で荷役作業を行っていたが、トラックへの荷の積み卸しスペースに大屋根を設置したことで、雨天時の荷役時間が大幅に短縮(1回の積み込み作業全体で約2時間の短縮)。
- 大屋根設置の際には、トラックへの荷の積み卸しの支障とならないよう、柱の少ない工法を採用。

大屋根は作業員の熱中症対策にも有効！

